

# 栃木県立鹿沼東高等学校

## JRC部

高校生ボランティア・アワード2022

### 共に生きる ～共生社会実現への橋渡し～

1983年(昭和58年)開校、今年で創立40周年を迎える由緒ある全日制の学校。JRC部創立当初から、鹿沼東高の特徴である『地域交流』を盛んに行っている。現在部員数は23名(男子11名、女子12名)単なるボランティア活動だけでなく、1人1人がリーダーシップを取れるよう、『主体的』に活動している。

#### スマイルでの活動

#### 特別支援学校での活動

「スマイル」とは  
児童福祉法の1つである、放課後等デイサービス。  
6歳～18歳までの子どもが対象となっている。

同じJRC(青少年赤十字)メンバーの一員として、県内にある栃木県立今市特別支援学校の児童との交流を昨年からスタートしました。

#### ① 学習補助やプールやスイカ割りなどの外遊びの補助

#### ① 緑のステージ活動(一緒に花壇をつくろう)



**寄り添う**  
全てをサポートするのではなく、子供たちがやりたいこと、正しいことを成功させるためのお手伝いをするを意識しました。



**楽しむ**  
子供たちと一緒に水遊びやスイカ割りをしたり。合奏を聞かせてくれたお礼に、サンタの格好をして、一緒にクリスマス会をして手作りプレゼントを渡したり。とにかく一緒に楽しめます!



#### ② クリスマス会で折り紙や手作りメダルのプレゼント



**笑顔の輪**  
その日だけの交流で終わらせるのではなく、活動が終わった後も定期的におもちゃを届けたり、次の活動の計画を立てたり。いつまでもその笑顔が絶えないように。



「ありがとう!」「また来てね!」このような素敵な言葉をいただけることで日々やりがいを感じています。

#### 気づき

#### 考え

#### 実行する

#### 感じたこと・成長したこと

共生社会の実現が求められている。障がい者差別やジェンダー差別など、身近な所でも依然として差別はあるのではないかな?

私たちにできることは何か? 様々な立場の人と関わる機会を持ち、他者理解を深めることを通して、共生社会に貢献できるのではないかな?

地域の障害者施設での学習支援や外遊びの補助、特別支援学校との交流を通して実際に触れ合うことで、異なる立場の人との関わり方を学ぶ。継続的なかかわりを通して、互いに信頼関係を築く。

・この楽しさをもっと多くの人に知って欲しい。  
・交流を通して関わり方が分かったので、実生活でも手を差し伸べることができる。  
・これまでどのように接すれば良いか不安だったが、自ら積極的に動ける自信になった。  
...etc

#### 今後の鹿沼東高校JRC部

・SGDsの持続可能な開発目標にも掲げられているとおり、差別や偏見のない社会の実現を目指し、自ら進んで主体的に活動し、共生社会の実現を目指します。

・わたしたちとは異なる環境、立場の人と触れ合う機会を設けることで、人それぞれの違いを受け入れ、支えあい、互いに認め合う力を養っていきます。

・わたしたちの活動を自分たちの中だけで完結させることなく、周囲を巻き込み、より多くの人にわたしたちの活動を伝え、想いや考えを知ってもらい、差別や偏見のない社会を築いていきます。

・わたしたちにもできる、『心のバリアフリー』を常に意識し、自分の行動に責任をもち、これからも活動の幅を広げていきます。



鹿沼東JRC部